



## 出雲洋一さん

仙台市荒町商店街  
振興組合・副理事長

仙台の荒町商店街から参りました出雲と申します。高齢協さんと荒町商店街とのパートナーシップで一緒にできることはないか、ということを考えております。

荒町商店街ってご存知でしょうか？全国的に有名なんですが、仙台の中心部から南に歩いていける商店街なんですが、中心部商店街でもないし、周辺部商店街でもないという中途半端な、どちらかというところ、昔のご譜代町といって伊達政宗が配置した町の流れのところにあります。昔は広瀬川から近いので地下水がいいということで麴といって酒とか味噌とかの材料になるものの専売の店がいっぱいあった歴史のある町なんですが、明治時代になって酒造りが禁制になったもので麴屋さんなどがみんな廃業してしましまして、いま麴屋さんが一軒と味噌屋さんが一軒と仙台では珍しいんですが造り酒屋さんが一軒あります。あとは普通の近隣商店街で小さい店が並んでいます。ただ中心部から少し外れたおかげで昔からの町並みが残っているというところだと思います。

今から15年前になるんですけども、神社の境内で星空コンサートというのを始めたんですね。私の父親が理事長をやっておりましてあるとき「ハッと」ひらめいて、「外でコンサートをやったらどんなことになるだろう」と仙台の宮フィルの人に話をしたら「面白そうだからぜひやってみましょう」となっ

て、神社の境内が駐車場で8月3日にフルオーケストラでコンサートを始めたんです。それが今年で16回目になるんですけども毎年やっております名物でもありますし、誇りにもなっています。

16年続けてきたんですけど最初は補助金を300万くらいもらって、余裕を持ってやってたんですけどもだんだん補助金がつかなくなりまして最近では自分たちで広告を集めて、何とか続けていますが、景気が悪いものですから「今年は勘弁してくれ」という話がちらほら出てきています。星空コンサートについては3、4回まではイベントだったんですが、16回も続くとなんだかやめられないというように思っています。それがみんなの団結というか心の拠り所になっているんですね。

ただ去年私の父が理事長を辞めまして、私とか若い人が、年齢も15歳くらい若返ったんですが、その中で「イベントはもういいんじゃないか」というような話になりました。どこの商店街も本当に大変な状態で、倒産したり空き店舗が一杯という状態で、「何をしたらいいのか」ということすら手の打ちようがない状態だと思います。郊外に大型店が出てそちらのほうが買い物をしやすいし値段は安いし駐車場はあるし近所の商店街に行くと埃がかかったような値札もはがれているような商品を定価で売っているような状態なので、われわれ売っている者としても大変疑問を感じるんですけど、本当にもう商店街なくなっちゃったほうがいいのかと思うところもあるんですね。

町づくりというテーマになっているんですけども、「町づくり」という言葉はあまり好きではありません。町というのは歴史があっ

て作られてきたものではなくて、長年の歴史の中でその存在が認められてきたものではと思うんですね。町が持っている歴史とか財産とかそういったものを見直すことによって商店街というか町としてできることがあるんじゃないかなと思って毎日頑張っているというような状態です。

そのなかで荒町を高齢協さんと一緒になってお年寄りに優しい町にしようとする動きが出ています。東京の巣鴨の街ではお年寄りが束になってゾロゾロゾロゾロですね歩いているんですが、あのパワーを見てですね、こういうのが荒町にきたらすごいなと思うんです。荒町はお寺が多いんですが、そういう雰囲気というか、地域の力というようなものを見直してお年寄りをもっともっと大事にしながらそういうキーワードでなにかできたらいいなというふうに思います。

今から商店街というのは、お店が連なっていて人が買い物をするというのではなくて「テナントミックス」という「商店街としてこういうお店を引っ張ってこよう」とかですね、「こういう売り場作りをしていこう」というものを商店街としてのポリシーというか考えを持ってお客さんに対してアピールしていくということでは生き残る手はないと思うんですね。そのためのキーワードとしてお年寄りをターゲットにした街づくりしたいなと思うんです。まだアイデアの段階でこれから一つ一つ実現していこうと思っているんですけども、頑張りたいと思います。

その中で、お年寄りとは別に「荒町まぜっこひろば」というのも紹介しておきます。去年の9月から託児所を始めました。最初商店街で託児所をやると思ったんです。商店街の事務所の会議室が空いておりまして、そこを片付けたら託児所になるんじゃないか、

と。最初は猫とか犬とか預かるというようなつもりで始めたんですが、仙台市の補助事業があってそれをたまたま市報で見てこれは面白そうだなと申し込んだら合格してしまった。ところが実際やろうとしたら「この場所ではできません」と言われて、せっかく手を上げたのに引っこめるのはいやだなと思いついて、いろいろ当たったら近くの幼稚園の教室を貸していただけるということになりました。そこをお借りして託児所を始めました。託児所といってもこれは時間制の託児所で、一時間単位でお預かりしています。普通の託児所とは違って朝来て夕方帰るというのではなくて、とにかくどんな理由でもお預かりするというので、歯医者に行くとかですね、美容院に行くとか、ただ単に昼寝するとかですね、子供のための託児所というよりはお父さんお母さんがリフレッシュしてもらえようというイメージでやっております。

実際いろいろ運営してみると大変なことがあります。3月で決算したんですけれども25万くらい赤字になって私のポケットマネーで補填したんですが、平成14年度も申請しましてもう1年頑張りたいと思います。地域と商店街とのコミュニケーションといいますか、これにお年寄りなども入ってもらい、いろいろな昔話をしてもらったりとかお手玉をってもらったりとかそういった新しい試みをしたり、夜にコンサートに行くとか、夫婦で結婚記念日だから飲みに行くとか、自分がそういうのがあったらいいなと思ったんですが、夜の託児所もやってみようかなと思いますよ。託児所で働いている人に一応お金を払っているのだから、これも仕事おこしのひとつだと思っています。ありがとうございます。